## 千葉市下水道工事施工管理基準

令和6年4月1日改定

### 千葉市下水道工事施工管理基準 目 次

•	出来形管理基準2	
•	品質管理基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
•	- 写真管理基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5

## 出来形管理基準

#### 【下水道編】

20形集 (ブレキャスト)   正波管   20	章、節	 条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
1-3-4 管敷設工   管布設 (自然流下管)   (担発流 (プレキャスト)   (正送管					
1-3-4 管敷設工   管布設 (自然流下管)   短形環 (プレキャスト)   正送管   1-3-5 管基礎工   砂基礎   空イ   空イ   空   空   空   空   空   空   空	第3節 管きょエ(開削)	1-3-3 管路土木	管路掘削		5
20形策(ブレキャスト)   正送管   20			管路埋戻		5
正送管   校基礎   中名基礎   中名基础   中名   中名   中名   中名   中名   中名   中名   中					5
1-3-5 管基礎工   砂基礎   中石基礎   コンクリート基礎   主くら土台基礎   注しご所木基礎   1-3-6 水路築造工   現場村水路   1-3-7 管路上木工   鋼矢板土留   2世   2世   2世   2世   2世   2世   2世   2					6
Phase					6
コンクリート基礎   まくら土台基礎   はしご胴木基礎   1-3-6 水路築造工   現場打水路   1-3-7 管路土木工   銅矢板土留   1-4-5-4 立坑内管布設工   2全伏工   1-4-5-4 立坑内管布設工   2全伏工   1-4-5-4 立坑内管布設工   2全伏工   1-6-4 二次覆工   1-7-3 管きょ页生工   1-7-3 管きょの画被覆工   2を放正		1-3-5 管基礎工	砂基礎		6
まくら上台基礎   はしご胴木基礎   1-3-6 水路築造工   現場打水路   1-3-7 管路土木工   鋼矢板土留   1-3-7 管路土木工   鋼矢板土留   1-4-5-3 推進工   上6-4 二次模工   把進工   上7-3 管きよ内面被模工   反転・形成工法   型管工法   1-7-3 管きよ内面被模工   反転・形成工法   型管工法   1-8-3 現場打ちマンホール工   1-8-4 組立マンホール工   1-8-5 小型マンホール工   1-8-5 小型マンホール工   1-8-5 小型マンホール工   1-8-5 小型マンホール工   1-9-4 躯体工   採場打ち特殊人孔   大七越し管   推議打ち特殊人孔   大七越し管   推議工   1-10-5 取付管布設工   取付管   推議工   1-10-5 取付管布設工   取付管   1-10-5 取付管布設工   取付管   1-10-5 取付管布設工   取付管   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-			砕石基礎		6
13-6 水路築造工 現場打水路   13-7 管路土木工 鋼矢板土留   13-6 水路築造工 現場打水路   13-7 管路土木工 鋼矢板土留   14.5-3 推進工 推進工   14.5-3 推進工   14.5-3 推進工   14.5-4 立坑内管布設工 空伏工   14.5-4 立坑内管布設工   15-7 できょ内面被覆工   15-8 現場打ちマンホール工   15-8 現場打ちマンホール工   15-8			コンクリート基礎		7
1-3-6 水路築造工   現場打水路   1-3-7 管路土木工   鋼矢板土留   1-4,5-3 推進工   推進工   推進工   推進工   推進工   推進工   上4,5-4 立坑内管布設工   空伏工   上4,5-4 立坑内管布設工   空伏工   上6-4 二次覆工   上次覆工   上次度工   上级排行与マンホール工   上本公本ル工   上本の上   上本の手   上本の上   上本の上   上本の手   上本の手			まくら土台基礎		7
1-3-7   管路土木工   鋼矢板土留			はしご胴木基礎		7
第4,5節 管きよ工(小口推進、推進)       14,5-3 推進工       推進工       2000       14,5-4 立坑内管布設工 空伏工       2000       14,5-4 立坑内管布設工 空伏工       2000       14,5-4 立坑内管布設工 空伏工       2000       1-6-3 一次覆工 上交覆工 上交覆工 上交覆工 上交覆工 上交覆工法 上交覆工法 上交额 上边接工法 上交额 上边接工法 上交验 上边法 上边上 上边上 上面 上边上 上面 上边上 上面 上边上 上面 上边上 上面 上边上 上面		1-3-6 水路築造工	現場打水路		8
進、推進)     14,54 立坑内管布設工     空伏工       第6節 管きよエ(シールド)     1-6-3 一次覆工     規進工       第7節 管きよ更生工     1-7-3 管きよ内面被覆工     反転・形成工法       第8節 マンホールエ     1-8-3 現場打ちマンホール工     現場打ちマンホール工       工工     1-8-4 組立マンホール工     担立マンホール工       1-8-5 小型マンホール工     担立マンホール工     日本・ル工       第9節 特殊マンホール     1-9-4 躯体工     現場打ち特殊人孔       伏せ越し室・雨水吐室     大せ越し室・雨水吐室       (大せ越し室・雨水吐室)     中継ボンブ施設       第1 3節 立坑工     立坑工     立坑工       第2章 処理場・ポンプ場     立坑工     立坑工       第3節 敷地造成工     2-3-4 法面整形工     産土・切土     第1編 2-4-5 法面整形工       2-6-2 掘削工     土工(掘削)       2-7-2 土留・仮締切土     土留・仮締切土(日郷抗、 銀矢板)       第6節 本体作業土工     2-7-3 地中連続壁工     壁式     第3編 2-10-9 地中連続壁工       第7節 本体仮設工     2-7-4 地中連続壁工     柱列式     第3編 2-10-10 連続地中壁工(柱列式)		1-3-7 管路土木工	鋼矢板土留		8
進、推進)       14.5-4       立坑内管布設工       空伏工         第6節 管きよて(シールド)       16-64       二次覆工       三次覆工       三次覆工         第7節 管きよ更生工       1-7-3 管きよ内面被覆工       反転・形成工法       契管工法         類8節 マンホールエ       1-8-3 現場打ちマンホール工       理場打ちマンホール工       フンホール工         1-8-4 組立マンホール工       組立マンホール工       中型マンホール工       中型マンホール工         第9節 特殊マンホール       特殊マンホール       水型マンホール工       大地を返し室・雨水吐室       大地を返し管       上地を返売機(雨水吐室)       中継ポンブ施設         第1 0節 取付管及びますエ       1-10-4 ます設置工       公共ます       工の対土       工の対土         第1 3節 立坑工       1-10-5 取付管布設工       取付管       工の対土       工の対土         第2章 処理場・ボンブ場       工の対土       立坑工       工の対土       第1編 2-4-5 法面整形工         第2章 処理場・ボンブ場       工の振削」       土工(掘削)       工の検練切土       工の検練切土       工の検練切土       工の検練切土       工の検練切土       工の検練型工のサー連続型工の検練型工のサー連続型工の検練型工の検索力・対土を表示の		1-4,5-3 推進工	推進工		9
第6節       管きよ工(シールト)       1-6-3 一次覆工 1-6-4 二次覆工 1-7-3       掘進工 1-7-3       型機工 1-7-3       型きよ内面被覆工 1-7-3       反転・形成工法 1-7-3       型管工法 1-7-3       型管工法 1-7-3       型等とより面被覆工 1-7-3       反転・形成工法 1-7-3       型管工法 1-8-4       型場打ちマンホール工 1-7-2       型場打ちマンホール工 1-7-2       型場打ちマンホール工 1-7-2       担当場打ちマンホール工 1-7-2       担当場打ちマンホール工 1-7-2       型マンホール工 1-7-2       型マンホール工 1-7-2       型マンホール工 1-7-2       型場打ち特殊人孔 1-7-2       大せ越し室 1-7-2       世継ポンブ施設 1-10-4 ます設置工 2-7-2       工作を設定 1-10-4 ます設置工 2-7-2       工作を設定 1-10-5 取付管 2-7-2       工作管布設工 1-10-5 取付管 2-7-2       工作管布設工 2-7-2 型・仮締切土 1-10-5 原付管布設工 2-7-2 型・仮締切土 1-10-1 連続型工 2-7-2 型・仮締切土 1-10-1 連続型工 2-7-2 型・仮締切土 1-10-1 連続型工 1-10-1 連続型工 (壁式) 第3編 2-10-9 地中連続型工 (壁式) 第3編 2-10-9 地中連続型工 (柱列式)         第7節 本体仮設工 2-7-4 地中連続型工 1-7-3 地中連続型工 1-7-3 地中連続型工 1-7-3 地中連続型工 (柱列式)       柱列式 1-7-3 第3編 2-10-10 連続地中型 (柱列式)	\\ 1\(\chi\)\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	,			9
第7節 管きょ更生工       1-7-3 管きょ内面被覆工       反転・形成工法         第8節 マンホールエ       1-8-3 現場打ちマンホールエ       現場打ちマンホールエ         1-8-4 組立マンホールエ       組立マンホールエ       2マンホールエ         1-8-5 小型マンホールエ       小型マンホールエ       2型場打ち特殊人孔         伏せ越し室・雨水吐室 (大せ越し管 越流堰 (雨水吐室)中継ポンブ施設       2を表す         第10節 取付管及びますエ       1-10-4 ます設置工 公共ます       2年         第13節 立坑工       立坑工         第2章 処理場・ポンプ場       2-3-4 法面整形工 盛土・切土       第1編 2-4-5 法面整形工 至坑土木         第3節 敷地造成工       2-3-4 法面整形工 盛土・切土       第1編 2-4-5 法面整形工 至坑土木         第6節 本体作業土工       2-7-3 地中連続壁工 壁式       第3編 2-10-9 地中連続壁工 (壁式)         第7節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工 柱列式       特別式       第3編 2-10-10 連続地中壁工 (柱列式)		·			10
第8節       マンホールエ       1-8-3       現場打ちマンホールエ       現場打ちマンホールエ         1-8-4       組立マンホール工       組立マンホール工       2ンホール工         1-8-5       小型マンホール工       地型マンホール工       19         第9節       特殊マンホール       1-9-4       躯体工       現場打ち特殊人孔       10         大世越し管地流堰(雨水吐室)中線パンプ施設       1-10-4       ます設置工       公共ます       10       10       取付管       10       10       取付管布設工       10       10       取付管       10		1-6-4 二次覆工	二次覆工		10
第8節       マンホールエ       1-8-3       現場打ちマンホールエ       現場打ちマンホールエ       1-8-4       組立マンホールエ       1-8-5       小型マンホールエ       1-8-5       小型マンホールエ       1-8-5       小型マンホールエ       1-8-5       小型マンホールエ       1-9-4       駅体工       現場打ち特殊人孔 伏せ越し室・雨水吐室 伏せ越し室・雨水吐室 伏せ越し管 越流堰(雨水吐室) 中継ポンプ施設       1-10-4       ます設置工 ・ 全球ます       公共ます       1-10-5       取付管	第7節 管きょ更生エ				11
工       マンホール基礎工       マンホール工         18-4 組立マンホール工       組立マンホール工       日2-20 水型マンホール工         第9節 特殊マンホール       1-9-4 躯体工       現場打ち特殊人孔 伏せ越し管 越流堰 (雨水吐室) 中継ポンプ施設       日2-20 水型・アルで         第10節 取付管及びます工       1-10-4 ます設置工 公共ます       日2-20 水理・ボンブ場       日2-3-4 法面整形工 公坑土木       日2-3-4 法面整形工 全6-2 掘削工 土工 (掘削) 土工 (掘削) 土工 (掘削) 土工 (掘削) 土工 (掘削) 土工 (掘削) 土工 (経式)       第3編 2-10-9 地中連続壁工 壁式 (壁式)       第3編 2-10-9 地中連続壁 工 (壁式)         第7節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工 柱列式 第3編 2-10-10 連続地中壁 工 (柱列式)       第5編 2-10-10 連続地中壁 工 (柱列式)					11
1-8-4 組立マンホール工   組立マンホール工   担立マンホール工   担立マンホール工   担立マンホール工   担当マンホール工   担場打ち特殊人孔   大世越し室・雨水吐室   大世越し室・雨水吐室   大世越し室・耐水吐室   大世越し管   越流堰(雨水吐室)   中継ボンブ施設   世継ボンブ施設   世報・ポンプ場   世が工   立坑工   立坑工   立坑土木   年記・切土   世記・仮締切土   世記・仮締切土   世記・仮締切土   世記・仮締切土   世記・仮締切土   世記・仮締切土   日調杭、   国矢板   第3編 2-10-9 地中連続壁工   全式・   第3編 2-10-9 地中連続壁工   全式・   全式・   第3編 2-10-9 地中連続壁工   全式・   全式・   年列式   年列式   第3編 2-10-10 連続地中壁工   年列式   年列式   第3編 2-10-10 連続地中壁工   年列式   第3編 2-10-10 連続地中壁工   年列式   年列工   年					12
18-5 小型マンホール工   小型マンホール工   小型マンホール工   小型マンホール工   小型マンホール工   現場打ち特殊人孔   伏せ越し管   地流堰(雨水吐室)   中継ポンプ施設   1-10-4 ます設置工   公共ます   1-10-5 取付管布設工   取付管   立坑工   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-10-5 取付管布設工   1-10-5 取付管   1-10-5 取付   1-10-5 取付					12
第9節       特殊マンホール       1-9-4 躯体工       現場打ち特殊人孔 (伏せ越し室・雨水吐室) (大せ越し管 越流堰(雨水吐室) 中継ポンプ施設       2         第10節       取付管及びま 1-10-5 取付管布設工       公共ます 立坑工       立坑工         第13節       立坑工       立坑工       立坑土木       第2章 処理場・ポンプ場         第2章       処理場・ポンプ場       室立坑土木       室立坑土木       第1編 2-4-5 法面整形工         2-3-4       法面整形工       上工(掘削)         2-7-2       土留・仮締切土       土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)         第5節       本体作業土工       2-7-3       地中連続壁工       壁式       第3編 2-10-9       地中連続壁工         第7節       本体仮設工       2-7-4       地中連続壁工       柱列式       第3編 2-10-10       連続地中壁工(柱列式)		·			13
第10節取付管及びますエ       1-10-4 ます設置工 公共ます 日-10-5 取付管布設工 取付管         第13節立坑工       立坑工 立坑工 立坑土木         第2章処理場・ポンプ場       2-3-4 法面整形工 全・切土 生田・仮締切土 土工 (掘削) 2-7-2 土留・仮締切土 土留・仮締切土 (田綱杭、鋼矢板)       第3編 2-10-9 地中連続壁工 年列式 第3編 2-10-10 連続地中壁工 (柱列式)					13
大き感じ里、雨水吐里 (伏せ越し管 越流堰(雨水吐室) 中継ポンプ施設					13
越流堰(雨水吐室)	_				14 14
第10節 取付管及びますエ       1-10-4 ます設置工 公共ます       公共ます         第13節 立坑工       空坑工       立坑工       立坑工       立坑工       立坑工       立坑土木       回り、         第2章 処理場・ポンプ場       第2-3-4 法面整形工       盛土・切土       第1編 2-4-5 法面整形工         2-6-2 掘削工       土工(掘削)       土留・仮締切土(H鋼杭、鋼矢板)         第6節 本体作業土工       2-7-2 土留・仮締切土       壁式       第3編 2-10-9 地中連続壁工         第7節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第3編 2-10-10 連続地中壁工(柱列式)					15
第 1 0 節 取付管及びますエ       1-10-4 ます設置工 口1-10-5 取付管布設工       公共ます 取付管         第 1 3 節 立坑工       立坑工 立坑土木       立坑工 立坑土木         第 2章 処理場・ポンプ場       2-3-4 法面整形工 盛土・切土 第1編 2-4-5 法面整形工 2-6-2 掘削工 土工 (掘削)       土工 (掘削)         2-7-2 土留・仮締切土 土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)       土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)         第 6 節 本体作業土工 2-7-3 地中連続壁工 壁式 第3編 2-10-9 地中連続壁工 (壁式)         第 7 節 本体仮設工 2-7-4 地中連続壁工 柱列式 第3編 2-10-10 連続地中壁工 (柱列式)					15
す工     1-10-5     取付管布設工     取付管       第13節 立坑工     立坑工     立坑土木       第2章 処理場・ポンプ場      第1編 2-4-5 法面整形工       第3節 敷地造成工     2-3-4 法面整形工     盛土・切土     第1編 2-4-5 法面整形工       2-6-2 掘削工     土工 (掘削)     土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)       第6節 本体作業土工     2-7-2 土留・仮締切土     壁式     第3編 2-10-9 地中連続壁工       第7節 本体仮設工     2-7-4 地中連続壁工     柱列式     第3編 2-10-10 連続地中壁工 (柱列式)	第10節 取付管及びま	1-10-4 ます設置工			16
第2章 処理場・ポンプ場       立坑土木       第1編 2-4-5 法面整形工         第3節 敷地造成工       2-3-4 法面整形工       盛土・切土       第1編 2-4-5 法面整形工         2-6-2 掘削工       土工 (掘削)         2-7-2 土留・仮締切土       土留・仮締切土 (日鋼杭、鋼矢板)         第6節 本体作業土工       2-7-3 地中連続壁工       壁式       第3編 2-10-9 地中連続壁工 (壁式)         第7節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第3編 2-10-10 連続地中壁工 (柱列式)	- <u> </u>	1-10-5 取付管布設工			16
第2章 処理場・ポンプ場       2-3-4 法面整形工       盛土・切土       第1編 2-4-5 法面整形工         2-6-2 掘削工       土工 (掘削)         2-7-2 土留・仮締切土       土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)         第6節 本体作業土工       2-7-3 地中連続壁工       壁式       第3編 2-10-9 地中連続壁工(壁式)         第7節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第3編 2-10-10 連続地中壁工(柱列式)	第 1 3 節 立坑工		立坑工		17
第3節 敷地造成工       2-3-4 法面整形工       盛土・切土       第1編 2-4-5 法面整形工         2-6-2 掘削工       土工 (掘削)         2-7-2 土留・仮締切土       土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)         第6節 本体作業土工       2-7-3 地中連続壁工       壁式       第3編 2-10-9 地中連続壁工 (壁式)         第7節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第3編 2-10-10 連続地中壁工 (柱列式)			立坑土木		17
2-6-2   掘削工   土工 (掘削)   土留・仮締切土   土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)   第 6 節 本体作業土工   2-7-3   地中連続壁工   壁式   第3編 2-10-9   地中連続壁工   (壁式)   第 7 節 本体仮設工   セ列式   第 3編 2-10-10   連続地中壁工 (柱列式)					
2-7-2 土留・仮締切土       土留・仮締切土 (H鋼杭、鋼矢板)         第 6 節 本体作業土工       2-7-3 地中連続壁工       壁式       第 3編 2-10-9 地中連続壁工 (壁式)         第 7 節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第 3編 2-10-10 連続地中壁工 (柱列式)			-	第1編 2-4-5 法面整形工	18
第 6 節 本体作業土工       2-7-3 地中連続壁工       壁式       第 3編 2-10-9 地中連続壁工(壁式)         第 7 節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第 3編 2-10-10 連続地中壁工(柱列式)	L				18
第 6 節 本体作業土工       2-7-3 地中連続壁工       壁式       第 3編 2-10-9 地中連続壁工(壁式)         第 7 節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第 3編 2-10-10 連続地中壁工(柱列式)					18
第7節 本体仮設工       2-7-4 地中連続壁工       柱列式       第3編 2-10-10 連続地中壁工(柱列式)	第6節 本体作業土工			第3編 2-10-9 地中連続壁	19
工(柱列式)					
2-8-3 直接基礎工	第 7 節 本体仮設工	2-7-4 地中連続壁工	柱列式		19
	L		構造物基礎		19
90270					20
00/0/14 3 02					20
			ケーソン基礎		21
礎工ソン基礎工2-8-8ニューマチックケー第3編 2-4-8ニューマチッソン基礎工クケーソン基礎工		2-8-8 ニューマチックケー		第3編 2-4-8 ニューマチッ	
	<u> </u>		池・槽の主要構造物	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	21
					21
					22
EACT OF					22

		可動せき用開口部	22
	2-8-11 越流樋	流出トラフ	22
	2-8-12 越流堰板工	越流堰	23
		燃料貯留槽工	23
第9節 場内管路工	2-9-10 管布設工	流入渠・流出渠	23

<sup>「</sup>準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

<u>単位:mm</u>

編	章	節	条	工種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1 管路	3管きょエ(開削)	3 管路土工	管路掘削	深さ h 幅 B	±30 -50	マンホール間ごとに1箇所測定する。	GL\(\sqrt{\lambda}\) h	
下水道	1 管路	3管きょエ(開削)	3 管路土工	管路埋戻	基準高▽	±30	マンホール間ごとに1箇所測定する。		
下水道	1 管路	3管きょエ(開削)	4 管布設工	管布設 (自然流下管)	基準高▽ 中心線の変位(水平) 勾配 延長 ℓ 総延長 L	±30 ±50 ±20% -2√500かつ -200	基準高、中心線の変位(水平)は、マンホール間の中央部及び両端部を測定する。 延長2はマンホール間を測定する。		

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準		<u>早</u> 位:mm 摘 要
下水道	1 管 路	3管きょエ		矩形渠 (プレキャスト)	基準高▽	±30	基準高、中心線の変位(水平)は、施工延長 20mにつき1箇所の割合で測定する。		
			設工		中心線の変位(水平)	±50			
		(開削)			勾配	±20%			
					延長 0	-l/500かつ -200	延長ℓはマンホール間を測定する。		
					総延長 L	-200			
下水道	1 管 路	3管きょエ	4管布設工	圧送管	基準高▽	±30	施工延長40mにつき1箇所の割合で測定する。		
		工 (開削)	Î		中心線の変位(水平)	±50			
		9			総延長	-200			
下水道	1 管 路	3管きょエ	5管基礎工	砂基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測 定する。	1997	
		工 (開削)	Ĩ		幅 B	-50		$\uparrow \land $	
		(2)			厚さ h	-30		h	
								B	
下水道	1 管 路	3管きょエ	5管基礎工	砕石基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測 定する。		
			一 位 工		幅 b	-50			
		開削)			厚さ h	-30			
								b	

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	型 第一次	
下水道	1 管 路	3管きょエ		コンクリート基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測 定する。		
		一 (開削)	_		幅 b	-30			
		E)			厚さ h	-30			
								h b	
下水道	1 管 路	3管きょエ	5管基礎工	まくら土台基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測 定する。		
		エ(開削)	工						
		削							
下水道	1 管 路	3管きょエ	5管基礎工	はしご胴木基礎	基準高▽	±30	各マンホール間の中央部及び両端部等を測 定する。	1	
		工(開削)	Ï		幅 b	-30			
		:::			厚さ h	-30			
								h th	
								<u></u>	

編	章	節	条	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1 管 路	3管きょエ	6水路築造工	現場打水路	基準高▽	±30	基準高、中心線の変位(水平)、幅、高さ、 厚さは、1打設長ごとに両端部等を測定す る。		
		エ (開削)	造工		中心線の変位(水平)	±50	1打設長が20m以上の場合は、20mにつき1箇 所の割合で測定する。		
		則			幅 b	-30		t* b * t	
					高さ h	±30		*	
					厚さ t	-20			
					勾配	±20%			
					延長()	−ℓ∕500かつ −200	延長ℓはマンホール間を測定する。		
					総延長 L	-200			
下水道	1 管路	Hヶ保嚊の	7 管路土留工	鋼矢板土留	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1箇所測定する。 20m未満は、1施工箇所につき2箇所測定す る。		任意仮設の場合は除く
		工 (開削)	留工		根入長 L	設計値以上			
		9			変位	100		L	

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1 管 路	4、 5	3 推 進 工	推進工	基準高▽	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、推進管1 本ごとに1箇所測定する。		
		5管きょH	_		中心線の変位(水平)	±50			
		小口径#			勾配	±20%			
		(小口径推進・推進)			延長()	-ℓ∕500かつ -200	延長ℓはマンホール間を測定する。		
		進)			総延長 L	-200			
下水道	1 管 路	4、5管	4立坑内	空状工	基準高▽	±50	1施工箇所ごとに測定する。		
		きょエ・	4立坑内管布設工		幅 b	-30		k p	
		5管きょエ(小口径推進・推進)			高さ h	-30			
		進・推進			中心のずれ	±50		h _	
		<b>(</b> )			延長	-50			
					勾配	±20%			

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1 管 路	6管きょエ		掘進工	基準高▽	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、セグメント5リングにつき1箇所測定する。		
		Ĭ I   シ-	置		中心線の変位(水平)	±100			
		ールド)			延長 0	-1∕500かつ -200	延長ℓはマンホール間を測定する。		
					総延長 L	-200			
下水道	1 管路	6管きょエ	4二次覆工	二次覆工	基準高▽	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、施工延長40mにつき1箇所測定する。		
		エ(シー	Î		中心線の変位(水平)	±50			
		-ルド)			二次覆工厚 t	-20	二次覆工厚は、1打設につき端面で上下左右 4点を測定する。		
					仕上がり内径 D	±20	仕上がり内径は、施工延長40mにつき1箇所 測定する。		
					勾配	±20%		V t	
					延長 0	-1∕500かつ -200	延長ℓはマンホール間を測定する。		
					総延長 L	-200			

編	章	44	々	ェ	————— 種	281	定項		+8	+/2	値		Ail i	<del></del>	基	 進	I	281	定	笛	———— 所	1	字 <u>[江</u> ]。
下水道	1 管路	節 7管きょ更生下	条3管きょ内面被覆工	反転・形成工法		仕上	正 頃		規	格 		1スパンの 人が入って 径について する。	上下流 測定で 1スパ	管口で できる パンの	ェ で測定す 場合は 中間部	'		測 33		酉	РЛ	<del>- 1</del> f	罗
		1					更生管原	m.	が呼 で、か 20%以 定値	びの上にいったいのよりの最小の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の一人の	均管厚 き以上 限は+ し、測	測し記録す 更生管厚に 径を測定し よの内径を 確認する。	つる。 は、厚空 ノ、更空	生工事 生後に	前に既 .同方向	経に対して計 設管きょの内 での更生管き し引くことで		270°		150°	既設管 更生管 90°	ょ更生 ける記 ガイ	反の「管となる」では、 ではま・イ実にを でいる。 では、 でいる。 では、 でいる。 では、 でいる。 では、 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。
下水道	1 管路	7管きょ更生エ	3管きょ内面被覆工	製管工法		.—	上がりで	—	更生的	内径か 管径を いこと	が設計 を下回	径について する。 それぞれ§ 所で測定す	測定で 1スパ E生管(	できるパンの	場合は 中間部	⊤る。 :、仕上がり内 付近でも測定 言さと幅の2箇			0° D2 180°	90	表面部材等	する。	

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	抽 指 要
下水道	1 管路	i ®マンホ		現場打ちマンホールエ	基準高▽	±30	1施工箇所ごとに測定する。	~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	nei X
		ールエ	ちマン#		幅 b (内法)	-30			
			ハールエ		壁厚 t	-20			
					人孔天端高	±30		t	
下水道	1 管 路	∞マンホ.	3 現場打	マンホール基礎工	基準高▽	±30	1施工箇所ごとに測定する。		
		ルエ	3現場打ちマンホ		床堀深 H	±30			
			ールエ		基礎工幅 B1	-50		Н	
					基礎工高 h1	-30			
					コンクリート工幅 B2	-30			
					コンクリート工高 h2	-10		h1 00 00 V	
								B1 >	

編	章	節	条	工  種	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	<u>早</u> 位:mm 摘 要
				<u>単</u> 組立マンホールエ	<b>测 正 垻 日</b>	况 恰 但	脚		볘 安
下水道	1 管 路	8マンホ-	4組立マンホー	組立マンホールエ	基準高▽	±30	他上国別してに側にする。	GL PRIN	
		ールエ			人孔天端高	±30			
			ルエ					-	
下	1	8	5	小型マンホールエ			1施工箇所ごとに測定する。		
下水道	1 管 路	8マンホ-	5小型マンホ	小型・フホールエ	基準高▽	±30	肥上自力  ことに例にする。	The Share of the State of the S	
		ールエ			人孔天端高	±30		<u> </u>	
			ルエ						
下水道	1 管 路	9特殊マンホー	4 躯 体 工	現場打ち特殊人孔	基準高▽	±30	1施工箇所ごとに測定する。	Paris Paris	
					幅 B	-30			
		ルエ			高さ h	±30		1	
					壁厚 t	-20			
					人孔天端高	±30		h i -	
								EUGUMS BREECH	

編	章	節	条	工種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1 管 路	9 特 殊	伏せ越	伏せ越し室・雨水吐室	基準高▽	±30	1施工箇所ごとに測定する。	iti. h iti	
		9特殊マンホー	し室・雨		幅 b (内法)	±30		* K C A K	
		ᅶ	水吐室	伏せ越し室・雨水吐室	高さh	±30			
			_		厚さ t	-20		t	
								↑ ↑ † † † † † † † † † † † † † † † † † †	
下編道	1 管 路	9特殊マンホー	伏せ越した	伏せ越し管	基準高▽	±30	1施工箇所ごとに測定する。		
		ンホールエ	工		中心線の変位	±30			

編	章	節	条	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1 管 路	9特殊マンホー	越流堰	越流堰(雨水吐室)	基準高▽	±10	基準高は、中央部及び両端部を測定する。		
		マンホー:	(雨水吐室)		幅 b (厚さ)	±20	幅、高さ、延長は、1施工箇所ごとに測定す る。		
		ルエ	(三)		高さ h (深さ)	±30			
					延長 L(長さ)	-20			
								<b>₹</b> <sup>b</sup> }	
								The state of the s	
								h	
下水道	1 管 路	9特殊マンホー		中継ポンプ施設	基準高▽	±30	1施工箇所ごとに測定する。	Yes	
		シホール			幅、長さ B	-30			
		ルエ			深さ h	-30		h	
					壁厚 t	-20			
								B	
								t "t	

編	章	節	条	工種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1管路	10取付管及びますエ	4ます設置工	公共ます	ます深 h	±30	1施工箇所ごとに測定する。	h	
下水道	1 管路	10取付管及びますエ	5取付管布設工	取付管	延長 L	-200	1施工箇所ごとに測定する。	L	

編	章	節	条	工種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	1 管 路	13 立坑 工		立坑工	基準高▽	±30	1施工箇所ごとに測定する。	1200	
		_			寸法 b	±100			
					深さ h	±30		h	
								(M) (M) ✓ ↓	
下	1	13		立坑土工			1施工箇所ごとに測定する。		
下水道	1 管 路	13 立坑 工		149044	基準高▽	±30	THE EINCE CHARLES TO	VENU	
					砕石基礎幅 b1	-50			
					砕石基礎厚 t1	-30			
					床版コンクリート基準高	±30		▼ ↓ ±2	
					床版コンクリート幅 b2	-30		$\begin{array}{ c c c c c c }\hline (0) & (0) & (1) \\\hline (1) & (1) & (1) \\\hline (2) & (1) & (1) \\\hline (3) & (2) & (1) \\\hline (4) & (2) & (1) \\\hline (4) & (2) & (2) \\\hline (4) & (2) & (2) \\\hline (4) & (2) & (2) \\\hline (5) & (2) & (2) \\\hline (6) & (2) & (2) \\\hline (7) & (2) & (2) \\\hline (8) & (2) & (2) \\\hline (9) & (2) & (2) \\\hline (1) & (2) & (2) \\\hline (1) & (2) & (2) \\\hline (2) & (2) & (2) \\\hline (3) & (2) & (2) \\\hline (4) & (2) & $	
					床版コンクリート厚 t2	-10		bl bl	

編	章	節	条	エ種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	用心:mn 摘 要
下水道	2 処理場	3敷地造成工		盛土・切土	基準高▽	±50	施工延長おおむね40mごとに1箇所、40m未満 は1施工箇所につき2箇所測定する。		
	2処理場・ポンプ場	成工			幅W	-100			
	場				法長L<5m	盛土:-100		L	
					法長L<5m	切土:-200		W \	
					法長L≧5m	盛土:-2%			
					法長L≧5m	切土:-4%			
下水道	2処理場・ポンプ場	6本体作業土工	2掘削工	土工(掘削)	基準高▽	±50	施工延長おおむね40m(小規模なものは20m) ごとに基準線測線を設定し、基準高を10mご と、変化点ごとに測定する。	V P	
	・ポンプ	土工			幅 B	-100		B B	
	· 場							A randwar 7	
								B	
下水道	2処理場・ポンプ場	7本体仮設工	2 土留・.	土留・仮締切工 (H鋼杭、鋼矢板)	基準高▽	±50	施工延長20mにつき1箇所測定する。 20m未満は、1施工箇所につき2箇所測定す る。	変位	任意仮設の場合 は除く
	・ポンプ	設工	仮締切工		根入長 L	設計値以上			
	場 				変位	100			

編	章	節	条	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	2処理場・	7本体仮設工	3 地中連続壁工	壁式	基準高▽	±50	基準高は施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものについては1施工箇所につき2箇所	<u>← L1</u>	
	%・ポンプ場	設工	続壁工		地中壁の長さ L1	-50	測定する。		
	場				垂直変位 (基準線からのずれ)	300	垂直変位は施工延長20m (測点間隔25mの場合は25m) につき1箇所、延長20m (又は25m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所測定す	V L1	
					壁体長 L	-200	13.		
下水道	2処理場・	7本体仮設工	4 地中連続壁工	<u></u> 柱列式	基準高▽	±50	基準高は施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m) につき1箇所、延長40m (又は50m) 以下のものについては1施工箇所につき2箇所	<del>[ ] 1 1   3   1   1   3   1   1   3   1   1</del>	D:杭径
	・ポンプ場	設工	続壁工		地中壁の長さ L1	-50	測定する。	d COCOCOCOCO D	
	場				垂直変位 d	D/4以内	垂直変位は施工延長20m (測点間隔25mの場合は25m) につき1箇所、延長20m (又は25m) 以下のものは1施工箇所につき2箇所測定する。		
					壁体長 L	-200	<b>19</b> 0		
下水道	2処理場・	8本体築造工	3直接基礎工	構造物基礎	幅W	設計値以上	施工延長20mにつき1箇所以上測定する。 施工延長20m以下は、1施工箇所につき2箇所 測定する。		
	・ポンプ場	造工	ば エ -		厚さ t	設計値以上		→ <b>()</b> [557.7	
	場				延長	各構造物の 規格値による		+ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
								<del></del>	

編	章	節	条	エ種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	事业: mm 摘 要
下水道	2処理場	8本体築造工		既製杭	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定する。	->  δ	
	物・ポンプ場	造工	T		根入長 L	設計値以上			
	場				偏心量 δ	D/4以内かつ 100mm			
					傾斜	1/100以内		L 設計	
								# T	
	0	0	6	18 37 17 1 1 1			A #41 - 21 - 57 the hand 2 - 70 the hand 2	/max   D	
下水道	2 処理場	8本体築造工	6場所打ち杭エ	場所打ち杭	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定する。 杭径(D)について、全周回転型オールケーシ	<del>-</del> γ δ	
	・ポンプ場	造工	ち杭エ		根入長 L	設計値以上	ング工法の場合は「設計径(公称径)-30mm 以上」とする。	打設高	
	場				偏心量 δ	D/4以内かつ 100mm		→ <del>基準高</del>	
					杭径 D	設計径 (公称径) 以上			
					傾斜	1/100以内			
								<b>\</b> \	

編	章	節	条	工種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	2処理場・	8本体築造工	7 8 オニュー	ケーソン基礎	基準高▽	±100	打設ロットごとに測定する。	L by L L	
	場・ポンプ場	造工	ノンケーソーマチック		長さ L	-50			
	場		ノン基礎エ		幅 b	-50			
			-ソン基礎エックケーソン基礎エ		高さ h	-100			
					壁厚 t	-20			
					偏心量	300以内		* N N N N	
下水道	2 処理場	8本体築造工	9躯体工	池・槽の主要構造物	基準高▽	±30	1池 (又は1槽) について、図面の主動 寸法表示箇所を測定する。	要なる	
	・ポンプ場	造工			幅 b	±30		רר זיגני ז האלברו זו הא	
	場				高さ h	±30		h h	
					壁厚 t	-20 ただし 床版厚 -10			
					長さ	±50			
下水道	2 処理場	8本体築造工	9躯体工	池・槽の付属構造物	基準高▽	±20	1施工箇所ごとに図面の主要なる寸況 箇所を測定する。	去表示 レ b √	
		造工			幅 b	±20		▼ <del> </del>	
	ポンプ場				高さ h	±20		h	
					壁厚 t	±10			
					長さ	±50			

編	章	節	条	工種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	2処理場・	8本体築造工	9躯体工	開口部	幅 b	±20	永久開口部ごとに測定する。	b	
	・ポンプ場	造工			高さ h	±20		<u></u>	
	場							h h	
下水道	2 処	8	9躯体工	ゲート用開口部	基準高▽	-20	開口部ごとに測定する。	<u>k_h_j</u>	
道	2処理場・ポンプ場	8本体築造工	体工		坐午同 ▼	+0		<u> </u>	
	ポ	造工			幅 b	-0			
	プリ					+20		h l	
	- 50				高さ h	±20			
								lacksquare	
下	2	8	9	可動せき用開口部			開口部ごとに測定する。		
下水道	2処理場・ポンプ場	8本体築造工	9躯体工	1330 C C / 13/13 C HP	基準高▽	-20	MARKE CITANALY US		
	· ポ	造工			幅 b	-0		h	
	ンプセ					+20			
	物				高さ h	±20		$\nabla$	
								· h	
下水道	2 処 理	8 本 体	11越流樋工	流出トラフ	基準高▽	±20	基準高は、1施工箇所ごとに交差点等を測定 する。		
	2処理場・ポンプ場	8本体築造工	樋工		幅 b	±20	幅、高さは、各池の1施工箇所について3箇所 測定する。	* b t	
	ン プ 場				高さ h	-20		h	
					厚さ t	±20		ZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZZ	
					長さ	±50	長さは、各池外周部の1施工箇所について測 定する。		

<u>単位:mm</u>

編	章	節	条	工種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
下水道	2 処理場	8本体築造工	12越流堰板工	越流堰	基準高▽	±20	基準高は中央部及び両端部を測定する。		
	2処理場・ポンプ場	造工	板工		幅 b	±20	幅・高さは、1施工箇所ごとに測定する。		
	場				高さ h	-20			
					長さ	±20		\(\sqrt{\sqrt{\pi}}\)	
								h	
下水道	2処理場	8本体築造工		燃料貯留槽工	基準高▽	±30	設計図の寸法表示箇所を測定する。	L	
	2処理場・ポンプ場	造工			厚さ t	-20			
	場				幅 W	-30			
					高さ h	±30			
					延長 L	-50			
下水道	2処理場・ポンプ場	9場内管路工	10 管布設工	流入渠・流出渠	基準高▽	±30	設計図の寸法表示箇所を測定する。	t d t	
	・ポンプ	路工	I		幅 b	-30			
	場				高さ h	-30		# ±	
					厚さ t	-20			
					延長	L<20m -50 L≧20m -100			

# 品質管理基準

### 目 次

	下水	《道編】	
1		管布設工 (開削) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	26
2		管推進工 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	28
3		シールドエ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
4		管きょ更生工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	30
5		マンホール設置工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	32
6		ます設置工	33
7		基礎杭工(既製杭) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	34
8		基礎杭工(場所打ち杭)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法		規格値	試験基準	摘	要	試験成 績表等 による 確認
管布設工 (開削)	管きよせ	必須	外観 形状・寸法(カラー 及びゴム輪を含む	目視による JSWAS A-1による		道協会「認定標章」の表示があること。 以上の材料とする。(管種の確認を行う)	(1)外観検査は全数について 行う。 (2)形状・寸法及び外圧強さ、			
	材料 (下				(2) 検査項目	及び判定基準は次のとおり。	水密性は日本下水道協会発行 の「検査証明書」の写しによる。			
	<ul><li>水道用鉄筋コンクリート管)</li></ul>		外圧強さ		検査項目管軸方向のひび割れ	判定基準 判官の長さ方向で管長の1/4以上(短 管及び異形管の場合は1/3以上)に わたるひび割れがないこと。ただし、管 長の1/4以下であっても管長の1/ 10程度のひび割れが複数あってはな らない。 ここで、ひび割れとは、乾燥収縮に伴い、ごく表面上に発生するひび割れを も含むものであり、直線性のものを指 す。また、かめの甲状のひび割れは差し 支えない。				0
			水密性		管周方向のひび割れ	割管周の方向で、管周の1/10以上に わたるひび割れがないこと。				
					管端面の欠損	管端面の平面積の3%以上が欠損していないこと。 ただし、シール材に係る部分についての欠損はないこと。				
	管き	必須	外観・形状 寸法	目視による	[外観検査]	* bb A Fancher to	(1) 外観・形状検査は、全数			
	管きょ材料	須	寸法	JSWAS K-1による	しくは、同等以_	道協会「認定標章」の表示があること。も 上の材料とする。(管種の確認を行う)	(2) 寸法、引張試験、偏平試 験、耐薬品性試験及びビカット			
	テ		引張試験		(2) 検査項目 検査項目	及び判定基準は次のとおり。 判定基準	軟化温度試験は日本下水道協 会発行の「検査証明書」の写し			
	水道用硬質塩		偏平試験		有害な傷	管の強さ、水密性及び耐久性に悪影響 を及ぼす傷があってはならない。(かす り傷程度のものは差し支えない)	による。			
	塩化ビ		負圧試験		滑らかさ	明らかな凹凸がないこと。				0
	ニル				割れ	割れがないこと。				
	管		耐薬品性試験		ねじれ	著しいねじれがないこと。				
			ビカット軟化温度試 験		管の断面形状	管の断面は、実用的に真円で、その両端 面は管軸に対して直角でなければなら ない。				
					実用上の真っすぐ	(*実用上、真っすぐであること。				
	管きょ材料	必須	外観・形状 寸法	目視による JSWAS K-13による		首協会「認定標章」の表示があること。も 上の材料とする。 (管種の確認を行う)	(1) 外観・形状検査は、全数 について行う。 (2) 寸法、引張試験、偏平試 験、耐薬品性試験及びビカット			
	育		A#4€3E1E			及び判定基準は次のとおり。 ************************************	軟化温度試験は日本下水道協 会発行の「検査証明書」の写し			
	水道用		引張試験 偏平試験		検査項目 有害な傷	判定基準 管の強さ、水密性及び耐久性に悪影響 を及ぼす傷があってはならない。(かす り傷程度のものは差し支えない)	による。			
	リブ付硬質塩		負圧試験		滑らかさ	明らかな凹凸がないこと。				0
	塩化ビニ				割れ	割れがないこと。				
	ル		耐薬品性試験		ねじれ	著しいねじれがないこと。				
	管		ビカット軟化温度試 験		管の断面形状	管の断面は、実用的に真円で、その両端 面は管軸に対して直角でなければなら ない。				
					実用上の真っすぐ	ぐ実用上、真っすぐであること。				
	管	必須	外観・形状	目視による	[外観検査]		(1) 外観・形状検査は、全数			
	管きょ材料	須	寸法	JSWAS K-2による		道協会「認定標章」の表示があること。も 上の材料とする。(管種の確認を行う)	(2) 寸法、外圧試験、耐薬品 性試験、耐酸試験及び水密試験			
	〒		引張試験		(2)検査項目 検査項目	及び判定基準は次のとおり。 判定基準	は日本下水道協会発行の「検査 証明書」の写しによる。			
	水道用		外圧試験		有害な傷	管の強さ、水密性及び耐久性に悪影響 を及ぼす傷があってはならない。				
	用強化プ		耐薬品性試験		滑らかさ	明らかな凹凸がないこと。				0
	ラスチック:		耐酸試験		管の断面形状	管の断面は、実用的に真円で、その両端 面は管軸に対して直角でなければなら ない。				
	複合管)		水密試験		実用上の真っすぐ	* 実用上、真っすぐであること。				

工種	種別	試験区分		試験項目	試験方法			規格値	試験基準	摘	要	試験成 績表等 による 確認
管布設工 (開削)	管きょ材料(	必須	寸法	・形状	目視による JSWAS K-14による	(1 しく (2	は、同等以上	協会「認定標章」の表示があること。も の材料とする。(管種の確認を行う) び判定基準は次のとおり。 判定基準	(1)外観・形状検査は、全数 について行う。 (2)寸法、引張試験、偏平試験 験、水圧試験、偏平負圧試験、耐薬品性試験、環境応力き裂試			
	(下水道用ポリ		偏平	試験			な傷	管の強さ、水密性及び耐久性に悪影響 を及ぼす傷があってはならない。	「大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大			
	リエチレン管)		耐薬	負圧試験 品性試験 応力き裂試験		滑ら割れ	かさ	明らかな凹凸がないこと。	皿の音」 グチンによる。			0
	<u>n</u> )		熱間験	内圧クリープ試  ・リング試験		ねじ		著しいねじれがないこと。				
				定性試験部相溶性試験		管の	断面形状	管の断面は、実用的に真円で、その両端面は管軸に対して直角でなければなら				
			対候	性試験		実用	上の真っすぐ	実用上、真っすぐであること。				
	管きょ材料		外圧	<ul><li>・形状及び寸法 試験</li><li>性試験</li></ul>	目視による JSWAS K-11による	(1 しく (2	は、同等以上 ) 検査項目及	協会「認定標章」の表示があること。もの材料とする。(管種の確認を行う) び判定基準は次のとおり。	(1)外観・形状検査は、全数 について行う。 (2)寸法及び外圧強さ、水密 性は日本下水道協会発行の「検 査証明書」の写しによる。			
	(下水道用レジンコンクリート管)			生試験		検査項目 管軸方向のひび割 れ		判定基準 管の長さ方向で管長の1/4以上(短 管及び異形管の場合は1/3以上)に わたるひび割れがないこと。ただし、管 長の1/4以下であっても管長の1/ 10程度のひび割れが複数あってはな らない。 ここで、ひび割れとは、乾燥収縮に伴い、ごく表面上に発生するひび割れを も含むものであり、直線性のものを指 す。また、かめの甲状のひび割れは差し 支えない。				0
			吸水	性試験		れ	方向のひび割 面の欠損	管周の方向で、管周の1/10以上に わたるひび割れがないこと。 管端面の平面積の3%以上が欠損して いないこと。ただし、シール材に係る部				
	管きょ材料(下	必須	コン	<ul><li>観</li><li>・寸法</li></ul>	目視による JSWAS K-12,、K-13による	しくは、同等以上 (2)検査項目及 検査項目		分についての欠損はないこと。 協会「認定標章」の表示があること。も の材料とする。 び判定基準は次のとおり。 判定基準	(2) 形状・寸法及びコンクリートの圧縮強度試験、曲げ強度 試験、接合部の水密性試験につ			
	- 水道用ボックスカル			強度試験			割れ  かさ	強度や耐久性に悪影響を及ぼす傷やひ び割れのないこと。 粗骨材が突出していたり、抜け出した 跡がなく、仕上げ面が極度に凹凸になっていないこと。内面が平滑であり、水 の流れに対して実用上支障のない滑ら かさであること。	「検査証明書」の写しによる。			0
	ベート)		接合	部の水密性試験		端面	の欠損	端面の表面積の3%以上が欠損していないこと。				
	管きよ			管 装	JSWAS G-1による				<ul><li>(1)外観検査は全数について 行う。</li></ul>			
	材料(下		,	外観	目視による	(1 しく	は、同等以上	協会「認定標章」の表示があること。も の材料とする。 び判定基準は次のとおり。	(2)形状・寸法及び引張試験、 硬さ試験、水圧試験については 日本下水道協会発行の「検査証 明書」の写しによる。			
	水道用ダクタイ			形状・寸法 引張試験	JSWAS G-1による		検査項目 クラック 湯境	判定基準 クラックがないこと。 湯境がないこと。				
	イル鋳鉄管)		外装	755 & 3.5 EA		原管	鋳巣	手直しの範囲を超えるものは不可とする。				0
				硬さ試験 水圧試験		完成管	モルタル ライニング 塗装	有害なひび割れがないこと。 管の受け口内面にモルタルが付着して いないこと。 表面は実用的に滑らかであること。 異物の混入塗りむらなどがなく、均一				
								な塗膜であること。				

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法			規格値	試験基準	摘	要	試験成 績表等 による 確認	
管布設工 (開削)	管きょ材料 (鋼管)	必須	外観 形状・寸法 成分・機械的性質	目視による 日本下水道協会下水道用資 器材 I 類の規定による JIS G 3443	(1 しく (2	は、同等以上 )検査項目及 検査項目 実用的に真	協会「認定標章」の表示があること。もの材料とする。 び判定基準は次のとおり。 判定基準 実用的に真っ直ぐであること。	(1) 外観検査は全数について 行う。 (2) 形状・寸法、成分・機械 的性質等は日本下水道協会発 行の「検査証明書」の写しによ る。			NJ. JILO	
			非破壞又は水圧		原管	に対して直 角	実用的に両端面は管軸に対して直角であること。 はなはだしい接合部の目違い、アンターカット、溶接ビートの不整がないこと。				0	
管推進工	答	- X	塗装 外観・形状		成管		鋼面が平滑に仕上がっていること。 管によく密着し、実用上平滑で、有害な ふくれ、へこみ、しわ、たれ、突部、異 物の混入などがないこと。					
官作进上	管きょ材料(下水道推進工法用鉄筋コンクリー-	必須	寸法 (カラー及びゴム輪 含む) 外圧強さ	目視による JSWAS A-2又はA-6による	(1 しく (2	) 日本下水道 は、同等以上 ) 検査項目及 検査項目	協会「認定標章」の表示があること。もの材料とする。  び判定基準は次のとおり。  判定基準  管の長さ方向で管長の1/4以上(短管及び異形管の場合は1/3以上)に わたるひび割れがないこと。ただし、管長の1/4以下であっても管長の1/10程度のひび割れが複数あってはならない。 ここで、ひび割れとは、乾燥収縮に伴い、ごく表面上に発生するひびの割れを指さむものであり、直線性の割れを指す。また、かめの甲状のひび割れは差し支えない。	ついて行う。 (2) 寸法、外圧強さ、コンク リートの圧縮強度及び水密性 は日本下水道協会発行の「検査 証明書」の写しによる。			0	
	卜管)	必	コンクリートの圧縮 強度 水密性 原 管	JSWAS G-1による		面の欠損	管周の方向で、管周の1/10以上にわたるひび割れがないこと。 管端面の平面積の3%以上が欠損していないこと。ただし、シール材に係る部分についての欠損はないこと。	<u></u>				
	管きょ材料(下水道推進工法用ダク	須	<u>内</u>	目視による JSWAS G-2による	(1 しく (2	は、同等以上 ) 検査項目及 検査項目 クラック 湯境 鋳巣	協会「認定標章」の表示があること。もの材料とする。  び判定基準は次のとおり。  判定基準 クラックがないこと。  湯境がないこと。  手直しの範囲を超えるものは不可とする。  有害なひび割れがないこと。	(2) 原管、内装、外装における形状・寸法は日本下水道協会 発行の「検査証明書」の写しに よる。			0	
	タイル鋳鉄管)		אנו	.97	外観	目視による	完成管	金装観検査	管の受け口内面にモルタルが付着していないこと。 表面は実用的に滑らかであること。 異物の混入塗りむらなどがなく、均一な塗膜であること。	(1) 外観検査は全数について		
	管きょ材料(鋼管)	須	形状・寸法	日本下水道協会下水道用資器材 I 類の規定による JIS G 3444	(1 しく (2	)日本下水道は、同等以上 )検査項目及 検査項目 実用的に真っ直ぐ	び判定基準は次のとおり。	行う。 (2) 形状・寸法、成分・機械 的性質等は日本下水道協会発 行の「検査証明書」の写しによ る。			0	
			塗装	<b>管</b>	有害な欠陥 仕上げ良好 塗装及び塗 覆装	ーカット、溶接ビートの不整がないこと。 鋼面が平滑に仕上がっていること。 管によく密着し、実用上平滑で、有害な ふくれ、へこみ、しわ、たれ、突部、異 物の混入などがないこと。						

I	種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘	要	試験成 績表等 による 確認
シール	ΤΊ·	管きょ材料(シールド	須	外観及び形状・寸法 検査 水平仮組検査 単体曲げ試験	JSWAS A-4による					
		工事用標準コンクリート		継手曲げ試験 性能 ジャッキ推力 査 試験			(1) 外観検査は全数について			0
		- 系セグメント) 管きょ	必須	つり手金具引 抜き試験 材料検査	JSWAS A-3による	[外観検査] (下水道協会規 (1) 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。も				
		ょ材料(シールド工事用		形状・寸法及び外観 検査 溶接検査		しくは、同等以上の材料とする。 (2) 有害な曲がり、そり等が無いこと。	行う。 (2) 材料、形状・寸法、溶接、 水平仮組についての検査は日 本下水道協会発行の「検査証明 書」の写しによる。 (3) 性能検査は設計図書の定 めによる。			0
		用標準鋼製セグメント)		水平仮組検査  ジャッキ推力  性能  能  単体曲げ試験  を  が ものは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で		[外観検査] (下水道協会規格 (1) 有害な曲がり、そり等が無いこと。 (2) 材料、形状・寸法、溶接、水平仮組、性能に関する 規格値は JSWAS A-3 の規定による。	(1) 外観検査は全数について			

ı	種	種別	試験区分		試験項目		試験方法	規格値	試験基準		試験所 績表等 による 確認		
管き、工	よ更生	自立管	必須		外圧強さ	又は	JSWAS K-1(φ600mm以下) 既設管きょφ700mm以上 JSWAS K-2(φ700mm以上)	新管と同等以上 偏平強さ (基準たわみ量時の線荷重) 基準たわみ外圧及び破壊外圧	公的機関による審査証明の資料「建設技術審査証明(下水道 技術)報告書」等で確認する。	果に基へ 50年後の 定値が申	がく )推 H告		
					曲げ強さ	短期	樹脂) JIS K 7171 密着管 (硬質塩化ビニル樹脂) JIS K 7171(試験速度 2mm/min) 現場硬化管	[最大荷重時の曲げ応力度]申告値以上 [第一破壊時の曲げ応力度]申告値以上(ただし25MPa以上) [第一破壊時の曲げひずみ]申告値以上(ただし0.75%以上)	原則、施工スパン毎とする。 密着管(熱形成タイプ)のうち 日本下水道協会のⅡ類資器材 として登録されているものに ついては、認定工場制度の検査 証明書を別途提出することに より、曲げ試験を免除できる。	2	う 最新よに計・		
				耐荷性能		長期	密着管(高密度ポリェチレン樹脂) JIS K 7116(水中、1,000時間) 密着管(硬質塩化ピニル樹脂) JIS K 7115 又は JIS K 7116(水中、1,000時間) 現場硬化管(ガラス繊維有り) JIS K 7039(水中、10,000時間) 現場硬化管(ガラス繊維無し)	<ul><li>(申告値=短期曲げ強さ[最大荷重時の曲げ応力度]申告値 ÷安全率)</li><li>申告値以上※1</li></ul>	公的機関による審査証明の資 料「建設技術審査証明(下水道 技術)報告書」等で確認する。	17 34 441 1 ~	ン」		
					曲げ弾性 率	短期	別 計	÷安全率)	原則、施工スパン毎とする。 密著管(熱形成タイプ)のうち 日本下水道協会のⅡ類資器材 として登録されているもの依古 ついては、認定工場制度の検査 証明書を別途提出することに より、曲げ試験を免除できる。				
						長期	密着管(高密度ボリエチレ/樹脂) JIS K 7116(水中、1,000時間) 密着管(硬質塩化ピニー树脂) JIS K 7116(水中、1,000時間) 現場硬化管(カ゚ラス繊維有り) JIS K 7305(水中、10,000時間) 現場硬化管(カ゚ラス繊維無し)		より、曲げ試験を免除できる。 公的機関による審査証明の資料「建設技術審査証明(下水道技術)報告書」等で確認する。				
					耐薬品性		JIS K 7511付属書D (水中、10,000時間) 密着管 JSWAS K-1方はJSWAS K-14	質量変化度±0.2mg/cm2以内		宣 思刊品 1. 在长凳上往			
				耐久性能			現場硬化管浸漬後曲げ試験	耐薬品性試験方法に示す判定基準	道協会のⅡ類資器材として登録されているものについては、認定工場制度の検査証明書を提出することにより、耐薬品性試験の実施を免除することができる。				
					耐摩耗性耐なトレインコェン性	1->` 3	密着管、現場硬化管 JIS K 7204又はJIS A 1452等 現場硬化管(ガラス繊維有) JIS K 7034	硬質塩化ビニル管(新管)と同等程度 50年後の最小外挿破壊ひずみ≧0.45%かつJSWAS K-2で求 められる値を下回らない	公的機関による審査証明の資料「建設技術審査証明(下水道 技術)報告書」等で確認する。				
					水密性			内外水圧0.1Mpaで漏水がないこと(3分間保持)		本表は、最			
					曲げ強さ		無し)長期曲げ強さと共通 密着管(高密度ポリュチレン樹脂) JIS K 7171 密着管(硬質塩化ピニル樹脂) JIS K 7171 現場硬化管 JIS K 7171	[最大荷重時の曲げ応力度]申告値以上	工法毎に保証値として公的機関の審査証明値を定めている。 日本下水道協会のⅡ類資器材として登録されている場合、認定工場制度の検査証明により 証明されている項目について	版の「管き」は更け工設理が施イに実施するできません。	また 計・ 目ガ ン」		
					引張強さ		密着管(高密度ポリエチレン樹脂) JIS K 7161 密着管(硬質塩化ピニル樹脂) JIS K 7161	申告値以上(ただし15MPa以上) 申告値以上(ただし20MPa以上)	は、検査証明による確認とする ことができる。				
				86.	引張弾性率	短期	現場硬化管 ISO 8513(A)又は(B)又はJIS K 7161 密着管(高密度ポリエチレン樹脂) JIS K 7161						
					能	引張伸び	び	伸び	率	JIS K 7161	申告値以上 (ただし1.26Pa以上) 申告値以上 350%以上		
					率		JISK6815-3	70%以上 申告値以上 (ただし0.5%以上)					

工種	種別	試験区分		試験項目		試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成 績表等 による 確認
管きょ更生 工	自立管	必須	耐	圧縮強さ		密着管(高密度ポリュテレン樹脂) JIS K 7181 密着管(硬質塩化ピニル樹脂) JIS K 7181 現場硬化管 JIS K 7181	申告値以上	日本下水道協会のⅡ類資器材 として登録されている場合、認 定工場制度の検査証明により 証明されている項目について	版の「管きょ 更生工法計・ おける設計・ 施工管理ガ イドライン」	
			震性能	圧縮弾性率	短期	密着管 (高密度ポリエチレン樹脂) JIS K 7181 密着管 (硬質塩化ピニル樹脂) JIS K 7181 現場硬化管	申告値以上	は、検査証明による確認とする ことができる。		0
			水理性能	粗度係数	V2.64-	JIS K 7181 粗度係数確認試験	原則として0.010以下	公的機関による審査証明の資料「建設技術審査証明(下水道 技術)報告書」等で確認する。		
			能 外観			成形後の軸・周方向収縮性試験 目視あるいは自走式テレビ カメラによる	甲 古	スパン毎とする。		
	複合管	必須	耐荷			股設管きょの劣化状態等を反映し、限界状態設計法により終局耐力を評価、又は鉄筋コンクリート管(新管)を破壊状態まで載荷後更生し、JSWAS A-1による破壊荷重試験を実施	申告値以上又は新管と同等以上	公的機関による審査証明の資料「建設技術審査証明(下水道技術)報告書」等で確認する。	きょの構造計算に必要な不要 ※3 試験は	
			性能	充填材圧 度	縮強	JSCE-G 521又はJSCE-G 505 等	申告値以上	小口径管(既設管きょの内径Φ 800m未満)の場合は施工延長 100m毎に1回とする。 公的機関による審査証明の資 料「建設技術審査証明(下水道 技術)報告書」等で確認する。	要とされる 方向で行う 本表は、最新 版の「管きょ	ŕ
				充填材ヤ 率 リング剛性		JIS A 1149 ISO 9969	申告値以上 申告値以上※2 (ただし0.5kPa以上)	公的機関による審査証明の資料「建設技術審査証明(下水道技術)報告書」等で確認する。	を取引を設計・ 施工管理ン イドライン」 に準拠して 実施する。	ř
				クリープ比 年値) 接合部引張		ISO 9967 JIS A 7511 付属書JB	申告値以上※2(ただし2.5以上) 申告値以上※3			
				強さ	接合	JIS A 7511 付属書JB	申告値以上		※4 耐震計 算により継 手部の照査	É
			耐久性能	耐薬品性		JSWAS K-1 又は JSWAS K-14	<ul> <li>表面部材が塩ビ系の場合はJSWAS K-1の試験方法で、質量変化度±0.2mg/cm2以内</li> <li>表面部材がボリエチレン系では、JSWAS K-14の試験方法で、質量変化度±0.2mg/cm2以内</li> </ul>	質公的機関による審査証明の資料「建設技術審査証明(下水道 技術)報告書」等で確認する。 製管タイプでは、工法毎に1回 とする。	合は、耐震実験による表	
				耐摩耗性		JIS K 7204 又は JIS A 1452等	硬質塩化ビニル管 (新管) と同等程度	公的審査機関による審査証明 の資料「建設技術審査証明(下 水道技術)報告書」等で確認す	11.017	
				水密性 一体性		JSWAS K-2 JIS A 1171に準ずる	内外水圧0.1MPaの水圧で漏水がないこと (3分間保持) 既設管きょと充填材が界面剥離しないこと	る。		
			耐震性	水密性		針と解説」における「差し込み継手管きょ」「ボックスカルバート」等の考え方を勘案し、性能照査を行う	継手部の屈曲角と抜け出し量が許容値内 (接合部が外れず、かつ、水密性を保っている)※4	公的審査機関による審査証明 の資料「建設技術審査証明(下 水道技術)報告書」等で確認す る。		
			能	₩1 10c 10c 10c 10c		30m、沈下量30cm)を想定した 変形を発生させ、内水圧 0.1MPaの条件下で3分間保持 する)				
			水 粗度係数 相度係数確認試験 原則として0.010以下 理 性 能							
			外観			目視あるいは自走式テレビ カメラによる	更生管きょの変形、更生管きょの浮上による縦断勾配の不 陸等の欠陥や異状箇所がないことを確認する。	スパン毎とする <u>。</u>		

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法		規格値	試験基準	摘	要	試験成 績表等 による 確認
マンホー 設置工	だい (組立マンホール側塊)	必須	外観 形状・寸法 コンクリートの圧縮 強度試験 軸方向耐圧試験 接合部の水密性試験 側方曲げ強さ試験	目視による JSWAS A-11による	しくは、同等以上	植協会「認定標章」の表示があること。もの材料とする。 たび判定基準は次のとおり。 判定基準 側塊は、強度や耐久性に悪影響を及ぼす傷がないこと。 側塊には、粗骨材が突き出していたり、抜け出した跡がなく、仕上げ面が極度に凹凸になっていないこと。 側塊の端面は、その面積の3%以上が欠損していないこと。 側塊の端面は平滑であり、側塊の軸方向に対して、実用上支障のない直角であること。	(1) 外観検査は全数について 行う。 (2) 形状・寸法・コンクリート の圧縮強度試験、軸方向耐圧試験、接合部の水密性試験、側方曲 げ強さ試験は日本下水道協会発 行の「検査証明書」の写しによ る。			0
	管きょ材料(下水道用鋳鉄製マンホールふた)	必須	外観・形状 寸法・構造 材質試験 荷重たわみ試験 耐荷重試験	目視による 「千葉市下水道用鋳鉄製マンホールふた仕様書」による JSWAS G-4による	しくは、同等以上 (2) 有害なきす	・ 協会「認定標章」の表示があること。も この材料とする。 一が無く、外観がよいこと。	(1)外観・形状検査は全数について行う。 (2)「千葉市下水道用鋳鉄製マンホールふた仕様書」によるものは寸法・構造、材質試験、荷重たわみ試験及び耐荷重試験は循路する。 (3)その他のものについての寸法・構造、材質試験、荷重にあいての寸法・構造、材質試験、荷重たわみ試験及び耐荷重試験は、町石重試験は、所有重試験といいての寸法・構造、材質試験は、の重にしたの表試を発行の「検査証明書」の写しによる。			0
	管きょ材料(マンホール足掛け金物)	必須	外親 形状・寸法 材質	目視による		われ、破損等が無いこと。 ・資料又は試験成績表を提出する。	外観検査は全数について行う。  (1) 芯材 JIS G 4303 (SUS403, SUS304) JIS G 3507 (SWRCH12R, SWCH12R) JIS G 3539 (SWCH12R) の規格に適合すること。			0
	管きょ材料(下水道用塩化ビニル製小型マンホール)	必須		目視による JSWAS K-9による 内ふたは、JSWAS K-7 防護ふたは、JSWAS G-3 による	しくは、同等以上	が協会「認定標章」の表示があること。も の材料とする。 なび判定基準は次のとおり。 判定基準 マンホールの強さ、水密性及び耐久性 に悪影響を及ぼす傷があってはならな い。(かすり傷程度のものは差し支えない) 明らかな凹凸がないこと。 割れがないこと。 著しいねじれがないこと。	(2) 寸法、引張試験、負圧試 験、耐薬品性試験及びビカット 軟化温度試験は日本下水道協 会発行の「検査証明書」の写し			0

工種	נימ	試験区分	試験項目	試験方法		規格値	試験基準	摘	試験所 績表等 による 確認
ます設置工	きょ材料(下	よ 材 料	外観・形状 寸法 荷重たわみ試験	目視による JSWAS G-3による	しくは、同等以上	É協会「認定標章」の表示があること。も ≃の材料とする。 『が無く、外観がよいこと。	(1) 外観・形状検査は全数に ついて行う。 (2) 寸法、荷重たわみ試験、 耐荷重試験及び材質試験は、日本下水道協会発行の「検査証明 書」の写しによる。		
	鋳鉄製防護		耐荷重試験						0
			材質試験						
	管きょ材料(下水道用硬質塩	必須	外觀・形状寸法	目視による JSWAS K-7による 防護ふたは、JSWAS G-3 立上り部は、JSWAS K-1 による	しくは、同等以上	道協会「認定標章」の表示があること。も この材料とする。 なび判定基準は次のとおり。 判定基準 マンホールの強さ、水密性及び耐久性 に悪影響を及ぼす傷があってはならな い。(かすり傷程度のものは差し支えな い)	(2) 寸法、引張試験、負圧試験、耐薬品性試験及びピカット 軟化温度試験は日本下水道協 会発行の「検査証明書」の写し による。		
	塩化ビニル製ます)		荷重試験 負圧試験 耐薬品性試験		滑らかさ 割れ	明らかな凹凸がないこと。 割れがないこと。			0
	管	必	ビカット軟化温度試験 外観・形状	目視による	ねじれ [外観検査]	著しいねじれがないこと。	(1) 外観・形状検査は、全数		
	『きょ材料(下水道用ポリプロピレン製ます)	必須	引張試験 荷重試験 負圧試験 耐薬品性試験	JSWAS K-8による 防護ふたは、JSWAS G-3によ る	(1) 日本下水道 しくは、同等以上	住協会「認定標章」の表示があること。も の材料とする。 なび判定基準は次のとおり。 判定基準 マンホールの強さ、水窓性及び耐久性 に悪影響を及ぼす傷があってはならない。 (かすり傷程度のものは差し支えない) 明らかな凹凸がないこと。 割れがないこと。 著しいねじれがないこと。	について行う。 (2) 寸法、引張試験、負圧試験、耐薬品性試験及び荷重たわ み温度試験は日本下水道協会 発行の「検査証明書」の写しに よる。		0

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験時期・頻度	摘	要	試験成 績表等 による 確認
基礎杭工(既製杭)	材料(鋼管杭、H鋼杭)				千葉市品質管理基準「6 既製杭工」による				
	材料(コンクリート杭)				千葉市品質管理基準「6 既製杭工」による				
	材料(合成杭)	Ì	外観 形状・寸法 性能検査		(財) 日本建築センターの評定又は評価基準 (社) コンクリートパイル建設技術協会の評価基準に 適合すること。	(1) 外観検査は全数について 行う。その他は、係員の指示に より行う。 (2) 形状・寸法及び材料等は、 「規格証明書」(品質を含む) 又は「試験成績表」を提出する。			0
	施工(鋼管杭、H鋼杭の現場溶接)				千葉市品質管理基準「6 既製杭工」による				
	施工(セメントミルク工法)				千葉市品質管理基準「6 既製杭工」による				
	施工	その他	支持力試験	杭の載荷試験		設計図書による			0
基礎杭工 (場所打ち 杭)	施工	必須	安定液等の孔内水 位、安定液の有効性 試験			(1) 孔内水位については杭ごとに必要に応じて測定する。 (2) 有効性試験(比重、粘性、 ろ過水量、PH、砂分)は杭ごとに又は1日に1回測定する。			
	•	その他	支持力試験	杭の載荷試験		設計図書による			0

## 写真管理基準

## 品質管理写真撮影箇所一覧表

	·		 真管理項目		
番号	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度 摘	要
1	管布設工 (開削) 管きょ材料 (下水道用鉄筋コンクリー ト管)	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
2	管布設工 (開削) 管きょ材料 (下水道用硬質塩化ビニル 管)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
3	管布設工 (開削) 管きょ材料 (下水道用リブ付硬質塩化 ビニル管)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
4	管布設工 (開削) 管きょ材料 (下水道用強化プラスチック複合管)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
5	管布設工 (開削) 管きょ材料 (下水道用レジンコンクリ ート管)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
6	管布設工 (開削) 管きょ材料 (下水道用ボックスカルバート)	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
7	管布設工 (開削) 管きょ材料 (下水道用ダクタイル鋳鉄 管)		[検査実施中]	不要	
8	管布設工(開削) 管きょ材料 (鋼管)	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	

番	T 15	2		写真管理項目		kt ##
番号	工種	1	撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	摘要
9	管推進工 管きょ材料 (下水道推進工: ンクリート管)	法用鉄筋コ	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
1 0	管推進工 管きよ材料 (下水道推進工: イル鋳鉄管)		外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
1 1	管推進工 管きよ材料 (鋼管)		外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
1 2	シールド工 管きょ材料 (シールド工事 クリート系セグ)		外観検査 (下水道協会規格外) 形状・寸法検査 水平仮組検査 性能検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
1 3	シールド工 管きょ材料 (シールド工事, セグメント)		外観検査 (下水道協会規格外) 材料検査 形状・寸法検査 溶接検査 水平仮組検査 性能検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
1 4	管きょ更生工 更生材料 (反転・形成工)	去)	更生材の曲げ試験(短期) 更生材の耐薬品性能試験	試験毎に1回	代表箇所 各1枚	最「生け施イン」で、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いで
1 5	管きょ更生工 更生材料 (製管工法)		更生材の圧縮強度試験 更生材の耐薬品性能試験	試験毎に1回	代表箇所 各1枚	که. ا
1 6	マンホール設置 管きょ材料 (組立マンホー/		外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	
1 7	マンホール設置」 管きょ材料 (下水道用鋳鉄! ルふた)		外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要	

番	ア 毎	写』	真管理項目		-fotc	<del></del>
番号	工  種	撮影項目		提出頻度	摘	安
1 8	マンホール設置工 管きょ材料 (マンホール足掛け金物)	外観検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要		
1 9	マンホール設置工 管きょ材料 (下水道用塩化ビニル製小 型マンホール)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要		
2 0	ます設置工 管きょ材料 (下水道用鋳鉄製防護ふた)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要		
2 1	ます設置工 管きょ材料 (下水道用硬質塩化ビニル 製ます)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要		
2 2	ます設置工 管きょ材料 (下水道用ポリプロピレン 製ます)	外観・形状検査	検査ごとに1回 [検査実施中]	不要		
2 3	基礎杭工 (既製杭)	外観 超音波探傷試験 根固め液及び杭周固定液の圧縮強度試験 支持力試験	検査ごとに1回 [検査実施中] 試験ごとに1回 [検査実施中]	不要		
2 4	基礎杭工 (場所打ち杭)	安定液等の孔内水位、安定液の有効性 試験 支持力試験	液試験ごとに1回 [検査実施中]	不要		

## 【下水道編】

【下水迫編】 章、節	条	枝番	準用する出来形管理基準	頁
第1章 管路				
第3節 管きょエ(開削)	1-3-3 管路土木	管路掘削		41
		管路埋戻		41
	1-3-4 管敷設工	管布設(自然流下管)		41
		短形渠(プレキャスト)		41
		圧送管		41
	1-3-5 管基礎工	砂基礎		41
		砕石基礎		41
		コンクリート基礎		41
		まくら土台基礎		42
		はしご胴木基礎		42
	1-3-6 水路築造工	現場打水路		42
	1-3-7 管路土木工	鋼矢板土留		42
第 4,5節 管きょエ(小口推	1-4.5-3 推進工			42
進、推進)	1-4,5-4 立坑内管布設工	空伏工		42
第6節 管きょエ(シール		掘進工		43
ド)	1-6-4 二次覆工	二次覆工		43
第7節 管きょ更生エ	1-7-3 管きょ内面被覆工	反転・形成工法		43
		製管工法		43
第8節 マンホールエ		現場打ちマンホールエ		44
	工	マンホール基礎工		44
	1-8-4 組立マンホール工	組立マンホール工		44
	1-8-5 小型マンホールエ	小型マンホール工		44
第9節 特殊マンホール	1-9-4 躯体工	現場打ち特殊人孔		44
エ		伏せ越し室・雨水吐室		44
		伏せ越し管		44
		越流堰(雨水吐室)		45
	1 1 70 170	中継ポンプ施設		45
第 1 0 節 取付管及びますエ	1-10-4 ます設置工	公共ます		45
-	1-10-5 取付管布設工	取付管		45
第 1 3 節 立坑工		立坑工 立坑土木		45 45
 第2章 処理場・ポンプ場		<u> </u>		43
第3節 敷地造成工	2-3-4 法面整形工	盛土・切土	第1編 2-4-5 法面整形工	46
第 6 節 本体作業土工	2-6-2 掘削工	土工(掘削)	房1柵 2-4-3 伝囬笠形工	46
第 7 節 本体仮設工	2-7-2 土留・仮締切土	土留・仮締切土(H鋼杭、		40
另 7 即 一个 体 区 区 工		鋼矢板)		46
	2-7-3 地中連続壁工	壁式	第3編 2-10-9 地中連続壁 工 (壁式)	46
	2-7-4 地中連続壁工	柱列式	第3編 2-10-10 連続地中壁 工(柱列式)	46
第8節 本体築造工	2-8-3 直接基礎工	構造物基礎		46
	2-8-5 既製杭工	既製杭	第3編 2-4-4 既製杭工	46
	2-8-6 場所打ち杭工	場所打ち杭	第3編 2-4-5 場所打杭工	47
	2-8-7 オープンケーソン基	ケーソン基礎	第3編 2-4-7 オープンケー	47
	礎工		ソン基礎工	
	2-8-8 ニューマチックケー		第3編 2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	
	ソン基礎工 2-8-9 躯体工	が、排の子再排送機	/ / / 全账上	47
	2-0-3 水平上	池・槽の主要構造物 池・槽の付帯構造物		47
		他・僧の付帯構造物 開口部		47
	I	州 口 可)		4/

		ゲート用開口部	47
		可動せき用開口部	48
	2-8-11 越流樋工	流出トラフ	48
	2-8-12 越流堰板工	越流堰	48
		燃料貯留槽工	48
第9節 場内管路工	2-9-10 管布設工	流入渠・流出渠	48

<sup>「</sup>準用する出来形管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

## 出来形管理写真撮影箇所一覧表(管きょ工事)

編	章	節	条	枝番	工 種		写真管理項目			控	要
柳	早	即	采	番		撮影項目	撮影頻度[時期]		提出頻度	摘	安
下水道	1 管 路	3管きょ工	3管路土工		管路掘削	掘削状況	マンホール間ごとに1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
			土工			深さ	マンホール間ごとに1回	[掘削後]			
		(開削)				幅					
下水道	1 管路	3管きょ工	3管路土工		管路埋戻	埋戻状況	マンホール間ごとに1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		(開削)									
下水道	1 管 路	3管きよ工	4管布設		管布設 (自然流下管)	布設状況	マンホール間ごとに1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		红 (開削)	工			中心線の変位(水平)	マンホール間ごとに1回	[布設後]			
下水道	1 管 路	3管きよ工	4管布設工		矩形渠 (プレキャスト)	布設状況	施工延長20mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		4工 (開削)	<u></u> 工			中心線の変位(水平)	施工延長20mにつき1回	[布設後]			
下水道	1 管 路	3 管きょエ	4管布設工		圧送管	布設状況	施工延長40mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		ょ工(開削)	設工			中心線の変位(水平)	施工延長40mにつき1回	[布設後]			
下水道	1 管 路	3 管き	5 管基		砂基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		よ工(開	礎工			幅	マンホール間ごとに1回	[施工後]			
	1	削)			가 ~ 甘 rk	厚さ			/\. ++ &\.		
下水道	1 管 路	3管きょ	5管基礎工		砕石基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		工 (開削)	Ï			幅	マンホール間ごとに1回	[施工後]			
下	1		5		コンクリート基礎	施工状況	マンホール間ごとに1回		代表箇所		
下水道	1 管 路	の管きより	5管基礎工			幅	マンホール間ごとに1回	[施工中]			
		工 (開削)	Ï			厚さ		[施工後]			
		준)									

<b>⊘</b> ≓	編章節条模				工任		写真管理項目			top ===
	卓	即		番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期	]	提出頻度	摘要
下水道	1 管路	3管きょ工 (開削)	5管基礎工		まくら土台基礎	設置状況	マンホール間ごとに1回	[施工中]	代表箇所 各1枚	
下水道	1 管 路	3管きょ工	5管基礎工		はしご胴木基礎	設置状況幅	マンホール間ごとに1回マンホール間ごとに1回	[施工中]	代表箇所 各1枚	
T.	1	(開削)	6		現場打水路	厚さ設置状況	施工延長20mにつき1回		<b>少丰</b>	
下水道	1 管 路	3管きょ工	6水路築造工		· 50. 物 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	中心線の変位(水平)	施工延長20mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚	
		(開削)	上			高さ厚さ				
下水道	1 管 路	管   	開工	鋼矢板土留	打込状況根入長	施工延長20mにつき1回 施工延長20mにつき1回	[打込中]	代表箇所 各1枚	任意仮設 の場合は 除く	
				開工			変位	施工延長20mにつき1回	[打込前後]	
						数量	全数量	[施工中] ———— [施工中]		
下水道	1 管 路	4、5管きよ	3推進工		推進工	各種設備設置撤去状況(推進設備、掘進機、坑口、汚水処理設備等)		[施工中]	代表箇所 各1枚	
		工(小				推進状況(掘削、送排泥、裏込注入等)		[施工中]		
		口径推進、推進)				中心線の変位(水平)	1施工箇所に1回	[推進後]		
下水道	1 管 路	4、5管きょ工	4 立坑内		空状工	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚	
		つよ工(小口径推進、推進)	管布設工			幅 高さ 中心のずれ	1施工箇所に1回	[施工後]		

<i>,</i> —		***		枯	_ ~		写真管理項目			1-1-1		
編	章	節	条	枝番	工種	撮影項目	撮影頻度 [時期]	]	提出頻度	摘 要		
下水道	1 管 路	6 管きよ	3 一次更		掘進工	各種設備設置撤去状況(シールド機、支圧 壁、坑口、軌条設備等)		[施工中]	代表箇所 各1枚			
		エ (シ	覆工			セグメント組立状況	施工延長40mにつき1回	[施工中]				
		シール				掘進状況(掘削、送排 泥、裏込注入等)	1施工箇所に1回	[掘進中]				
		ド)				中心線の変位 (水平)	施工延長40mにつき1回	「掘進後〕				
下水道	1 管路	6 管	4		二次覆工	各種設備設置撤去状 況	施工延長40mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚			
追	路	6管きょ工	4二次覆工			覆工状況	施工延長40mにつき1回	[施工中]				
		( ») —				中心線の変位(水位)	施工延長40mにつき1回	[覆工後]				
		ルド)				二次覆工厚						
						仕上がり内径						
下水道	1 管 路	7 管	3 管		反転・形成工法	前処理工	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚	最新版の 「管きょ		
追	路	7管きょ更生工	3管きょ内面被覆			挿入状況 (引込作業状 況、圧力管理状況等)	管径毎に1回	[施工中]		更生工法における		
		生工	面被			硬化状況 (圧力管理状況、温度管理状況)	管径毎に1回	[施工中]		設計・施 工管理ガ		
		復工				1スパン毎に上下流各1回	[施工中]		イドライ ン」に準			
						本管管口切断状況	適宜	[施工中]		拠して実 施する。		
						取付管管口せん孔状 況	管径毎に1回	[施工中]				
						更生管口仕上がり状 況(施工前、施工後)	1スパン毎に上下流各1回	[施工後]				
								更生管仕上がり厚さ (ノギスで測定)	1スパン毎に上下流各1回	[施工後]		
						更生管仕上がり内径	1スパン毎に上下流各1回 [施工後 硬化後	: 硬化直後、 24時間以降]				
						取付管口仕上がり状 況	1スパン毎、かつ5箇所に付き	き1箇所 [施工後]				
下水道	1 管 路	7 管**	3 管*		製管工法	前処理工	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚	最新版の 「管きょ		
坦	路	7管きょ更生工	3管きょ内面被覆工			製管作業状況	管径毎に1回	[施工中]		更生工法 における		
		土	画被覆!			充てん剤注入作業状 況	管径毎に1回	[施工中]		設計・施 工管理ガ イドライ		
			工.			本管管口切断状況	適宜	[施工中]		イン」に準拠して実		
						管口状況 (仕上がり内 径測定状況)	1スパン毎に上下流各1回	[施工中]		施する。		
					取付管管口せん孔状 況	管径毎に1回	[施工中]					
					更生管口仕上がり状 況(施工前、施工後)	1スパン毎に上下流各1回	[施工後]					
						更生管仕上がり内径 寸法状況	1スパン毎に上下流各1回	[施工後]				
						取付管口仕上がり状 況	1スパン毎、かつ5箇所に付き	き1箇所 [施工後]				

/r==	***	節条都			- Æ		写真管理項目			Luba	
編	章	沪	枀	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]		提出頻度	摘	要
下水道	1 管路	7マンナ	3現場に		現場打ちマンホール工	据付状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		ホールエ	現場打ちマン			幅(内法)	1施工箇所に1回	[施工後]			
			ホールエ			壁厚					
下水道	1 管 路	7 マン	3現場打ち		マンホール基礎工	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
~_	РП	ホー	打ち			床掘深	1施工箇所に1回	[施工後]			
		ルエ	らマンホ			基礎工幅基礎工高		[加工仪]			
			ルル								
			Ĭ			コンクリート幅 コンクリート高					
下水道	1 管 路	7 マ ン	4組立マ		組立マンホール工	据付状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
足	μū	- ホールエ	ュマンホールエ								
下水道	1 管路	7マンホール工	5小型マンホールエ		小型マンホール工	据付状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
下水道	1 管路	8 特 殊	4 躯 体		現場打ち特殊人孔	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
道	路	殊マン	体工			幅	1施工箇所に1回	[施工後]			
		ホー				高さ					
		ルエ				壁厚					
下水道	1 管 路	8 特殊	伏せ越し室		伏せ越し室・雨水吐室	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		マンホ	•			幅	1施工箇所に1回	[施工後]			
		ルエ	雨水叶			高さ					
					厚さ						
下水道	1 管 路	8特殊マン	伏せ越し管工		伏せ越し管	布設状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		ンホールエ	工			中心線の変位(水平)	1施工箇所に1回	[施工後]			

/r==	₹r.	fr-fr-	A	枝番	- 15		写真管理項目			Inte	
編	章	節	条	番	工種	撮影項目	撮影頻度[時期]		提出頻度	摘	要
下水道	1 管 路	8 特 殊	越流堰		越流堰(雨水吐室)	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
Æ	μП	ハマンホ				幅(厚さ)	1施工箇所に1回	[施工後]			
		ペール工	(雨水吐室)			高さ(深さ)					
						延長(長さ)					
下水道	1 管 路	8 特 殊			中継ポンプ施設	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
坦	LD.	ハマンホ				幅、長さ	1施工箇所に1回	[施工後]			
		ベールエ				深さ					
						壁厚					
下水道	1 管 路	9取付	4ます設置工		公共ます	設置状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
		管及び	設置工			Virt	L. Lieuwe feferance )				
		9取付管及びます工				ます深	1施工箇所に1回	[施工後]			
下水道	1 管 路	9取	5 取		取付管	布設状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
直	路	9取付管及びます工	5取付管布設工								
下水	1 管 路	12 立			立坑工	施工状況(立坑設置状況、立坑基礎設置状	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各 1 枚		
水道	路	坑工				況)			廿11次		
						寸法	1施工箇所に1回	[施工後]			
						深さ					
下水道	1 管 路	12 立 坑			立坑土工	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
	РΠ	五				砕石基礎幅	1施工箇所に1回	[施工後]			
				破砕基礎厚							
						底版コンクリート幅					
						底版コンクリート厚					

## 出来形施工管理写真撮影箇所一覧表(処理場・ポンプ場工事)

ሬ	章	節	条	枝番	工 経		写真管理項目			松丽	
編	早	即	采	番	工  種	撮影項目	撮影頻度[時期]		提出頻度	摘要	
下水道	2処理場・ポ	3敷地造成工	4法面整形工		盛土・切土	施工状況	施工延長40mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
	シプ場	4	<u></u>			幅	施工延長40mにつき1回	[施工後]			
下水道	2処理場・	6本体作業土工	2掘削工		土工(掘削)	掘削状況	施工延長40mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
	ポンプ場	쉬H				幅	施工延長40mにつき1回	[施工後]			
下水道	2処理場	7本体	2 土留 •		土留·仮締切土(H鋼杭、 鋼矢板)		施工延長20mにつき1回	[打込中]	代表箇所 各1枚	任意仮設 の場合は	
	場・ポ	本体仮設工	・仮締切			根入長	施工延長20mにつき1回	[打込前後]		除く	
	・ンプ場		切土			変位	施工延長20mにつき1回	[打込後]			
	·///S					数量	全数量	[打込後]			
下水道	2処理場	7本体	3地中	3 壁:	3 也 世	壁式	施工状況	施工延長40mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚	任意仮設 の場合は
Į	・ポン	本体仮設工	地中連続壁工			地中壁の長さ	施工延長40mにつき1回	[施工後]		除く	
	· プ 場					垂直変位					
下水道	2処理場	7本体	4地中連続		柱列式	施工状況	施工延長40mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
Į	・ポ	本体仮設工	連続壁工			地中壁の長さ	施工延長40mにつき1回	[施工後]			
	ンプ場		-			垂直変位					
下水道	2処理場	8本体	3直接		構造物基礎	施工状況	施工延長20mにつき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
	場・ポン	8本体築造工	3直接基礎工			幅	施工延長20mにつき1回	[施工後]			
	· プ 場					厚さ					
下水道	2処理場	8 本体	5 既製杭工		既製杭	打込状況	1施工箇所に1回	[打込中]	代表箇所 各1枚		
ᄺ	•	8本体築造工	杭工			根入長 偏心量	1施工箇所に1回 1施工箇所に1回	[打込前]			
	ポンプ	上				無心重 数量	1施工箇所に1回 全数量	[打込後]			
	場					杭頭処理状況	主	[打込後]			
						ションハー・エ・ハハレロ		前、中、後]			

<i>t</i> ==	-4	forton.	47	枝番	_		写真管理項目			1-4-	
編	章	節	条	番	工  種	撮影項目	撮影頻度	[時期]	提出頻度	摘	要
下水道	2処理場	8本体築造工	6場所打ち杭		場所打ち杭	打込状況	1施工箇所に1回	[打込中]	代表箇所 各1枚		
		築造	打ち			根入長	1施工箇所に1回	[打込前]			
	ポンプ	工.	杭工			偏心量	1施工箇所に1回	[打込後]			
	ンプ場					数量、杭径	全数量	[打込後] [打込後]			
						杭頭処理状況	1施工箇所に1回	[処理前、中、後]			
						鉄筋組立状況	1施工箇所に1回	[組立後]			
下水道	2処理場	8本生	78 オニ		ケーソン基礎	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
追	•	8本体築造工	ー ー プマ			長さ	1施工箇所に1回	[施工中][施工後]			
	ポンプ	工	ンチックト			幅					
	場		ソー			高さ					
			ン基礎工			壁厚					
			礎礎 工工			偏心量					
下水道	2処理場	8 本	9躯体工		池・槽の主要構造物	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
追		8本体築造工	14年工	T L		幅	測定箇所ごとに1回	[施工後]			
	ポンプ	工				高さ					
	場					壁厚					
						長さ					
下水道	2処理場	8本体築造	9躯体工		池・槽の付属構造物	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
坦		平築 造	工			幅	測定箇所ごとに1回	[施工後]			
	ポン。	Ī				高さ					
	ンプ場					壁厚 長さ	_				
下水	2 <i>Ы</i> П.	8 ★	9 鲸		開口部	施工状況	1施工箇所に1回	[# <del>;</del> - <b></b>	代表箇所		
水道	2処理場	8本体築造工	9躯体工			幅	1施工箇所に1回	[施工中]	各1枚		
	ポン	造工						[施工後]			
	ンプ場					高さ					
下水	2 <i>ы</i> л.	8 未	9 飯		ゲート用開口部	施工状況	1施工箇所に1回	[+ <del>//-</del>	代表箇所		
水道	2処理場	8本体築造工	9躯体工					[施工中]	各1枚		
	ポン	造工				幅	1施工箇所に1回	[施工後]			
	ンプ場					高さ					
						IH C					

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目					
						撮影項目	撮影頻度[時期]		提出頻度	摘	要
下水道	2処理場・ポンプ場	8本体築造工	9躯体工		可動せき用開口部	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
						幅	1施工箇所に1回	[施工後]			
						高さ					
下水道	2処理場・ポンプ場	8本体築造工	11越流樋工		流出トラフ	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	+		
						幅高さ	1施工箇所に1回	[施工後]			
						厚さ					
						長さ					
下水道	2処理場・ポンプ場	8本体築造工	12 越流堰板工		越流堰	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
						幅	1施工箇所に1回 [施工後 <sub>]</sub>				
						高さ					
						長さ					
下水道	2処理場・ポンプ場	8本体築造工			燃料貯留槽工	施工状況	1槽につき1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
						幅	測定箇所ごとに1回	測定箇所ごとに1回 [施工後]			
						高さ					
						長さ					
下水道	2処理場・ポンプ場	9場内管路工	10 管布設工		流入渠・流出渠	施工状況	1施工箇所に1回	[施工中]	代表箇所 各1枚		
						幅	測定箇所ごとに1回	測定箇所ごとに1回 [施工後] -			
						高さ					
						厚さ					
						延長					